

跡見学園女子大学マネジメント学部紀要 第20号 (2015年7月25日)

退職の一言

中 谷 幸 弘

昭和58年4月(1983)から跡見学園女子大学に勤務いたしました。

勤めてから4年目、昭和62年4月から平成元年7月14日まで教務部長として役職につくことになりました。年度を越えての単位認定の変更を認めない方向で厳しく対応していました。7月には入試関係で執行部が途中で替わりましたが、平成元年7月29日から平成2年10月31日までその問題の中心となっていた入試事務・広報室長を受け、入試委員会と入試問題の二面管理で厳正忠実に対応することになりました、虎ノ門の大蔵省印刷局へ教員の事務局長と2人体制で大学の金庫室から問題を持参し出かけていたりしました。早朝から半日仕事で些細な忘れ物をすると1日仕事でした。

平成3年3月1日から平成4年3月31日まで情報処理装置室長を受け、文部省の補助金を受けて、情報処理装置室を置く為、センターの規定や組織を東北大のセンター規定を参考に作り、装置室が1個、2個の場合センターとはいわないと指摘失笑されたこともありました。当初は一太郎 LOTUS123 桐等を導入していました。

勤務当初は合金の二相分離の研究は続いていました、また磁性関連で学外の先生と共同研究を組んでいましたが役職が続いて、時間的に困難になって解消に至りました。コンピュータを活用した教育を中心とした研究へと大きく舵をきることになりました。

そのあと、平成10年4月から平成12年3月まで教務部長を務めました、その間情報処理装置室長とマルチメディアセンター長を兼務し務めました。

平成15年4月から平成19年3月まで文学部長を2期務めました。

その後平成22年4月からマネジメント学部観光マネジメント学科にご厄介になっております。

また、講義や演習や卒論卒研等の教員として、また17年間軟式野球部の顧問として、21年間演劇部の顧問として、感動に満ちた32年間の教員として貴重な体験を有難う御座います。

大過なく定年を迎えられましたのも先生方のお蔭様と考えております、誠に有り難う御座います。